



設計概要

今から15年前、2008年11月に神戸空港島の西端にリゾートウェディング施設としてラヴィマーナ神戸はオープンしました。その主要施設の二つのチャペルのうちのひとつが黒い色の「森のチャペル」と呼ばれるアーリオスです。

神戸市の条例により準耐火建築物以上が要求されたため、木造のチャペルは燃えしろ設計を採用しています。できる限り細い線材で構成し繊細さを強調するために柱を1500ピッチに建て力を分散させています。構造上必要な筋交いと大きな底を受ける方柱がこの建築の大きな意匠になっています。

そして、これらの構造材は全て吉野杉の集成材で造られており中に入ると15年経った今でも木の香りが漂います。埋め立てられて間もない敷地であったため不同沈下が予想され将来建物をジャッキアップする必要がありました。そのため、鉄筋コンクリートで箱型の船を造り、その中に建物を入れ込んでいます。3メートルより下部の部分は鉄骨造とし、たくさんの柱を一旦地中梁で受け、柱の数を減らし、ジャッキアップしやすいように配慮しています。また、この大きな地下ピットは空調機と全熱交換器の設置スペースとリターンエアのチャンバーとして利用しています。

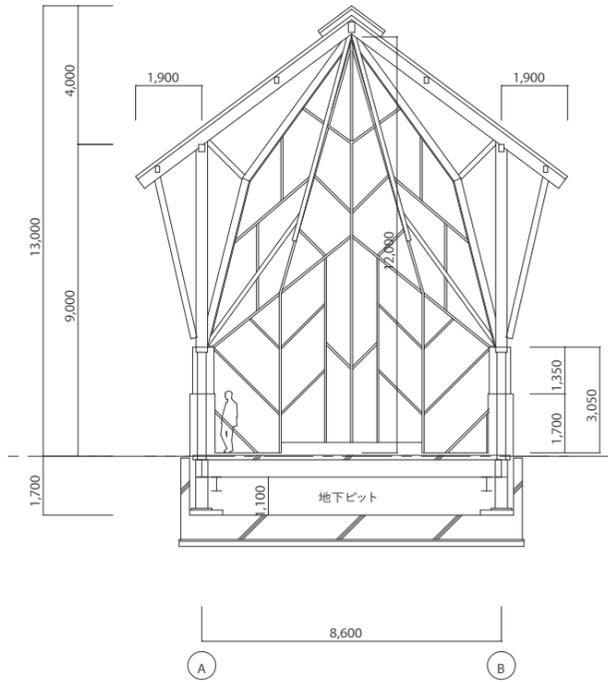
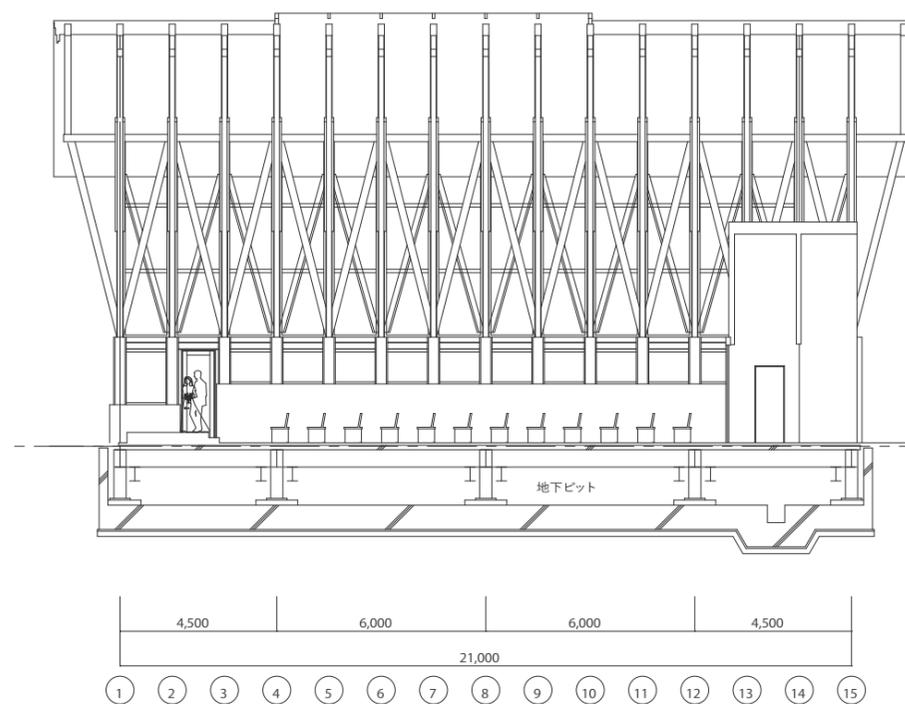
建築概要

用途：結婚式場
 建築面積：237.12㎡
 延床面積：171.34㎡
 構造：木造+鉄骨造(平屋)
 外部仕上：屋根 平形屋根スレート
 外壁 石貼・タイル貼・杉板貼

構造ダイヤグラム



A断面図・B断面図 S=1/200





平面図 S=1/200

上部平面図 S=1/200

